

令和8年度 シラバス 「数学(窯業科グループ)」

学年	3	週単位時間数	1	年間単位時数	35	授業集団	4名	使用教室	窯業科3年
資質・能力	(情)情報を収集する力 (コ)コミュニケーション力 (他)他の人を理解する力 (自)自己を理解する力 (協)協働する力 (地)地域で生活する力								
目標	① 知識及び技能 ② 思考力・判断力・表現力等 ③ 学びに向かう力、人間性等								
① 数量や計算、金銭管理などに関する知識技能を身に付ける。									
② 目的に応じて、適切に計算、判断する力を養う。									
③ 数学を実際場面でも活用し、よりよい生活を送ろうとする。									

学習計画			
月	学習内容(何を学ぶか) 関連する資質・能力の表示 関連教科は★付けて表示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)
4月	「金銭」(情)(地) ★総合・社会	・日常生活の場面で、目的に合った数量や金銭の処理の仕方を考えることができる。 ・予算の計画と、支出の記録の仕方を確認する。	・自分に合った表の形式を確認する。 ・見学旅行の予算を計画する。
5月	「数と計算」(自)(地) ★特別活動	・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりして、生活場面に生かすことができる。	・見学旅行の小遣い帳記録を検証する。 ・計算問題に取り組む。
6月	「数と計算」(情)(地) ★ライフキャリア	・割合の考え方を活用し、より経済的に、豊かに生活するための計算の仕方を身に付けることができる。	・割引表示と実際の節約の関係を計算して求める。
7月	「時間と時刻」(地) ★ライフキャリア	・時間や速さの表し方の仕組み、数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えることができる。また、それを日常生活に生かすことができる。	・行動にかかる時間を計算し、自分が余裕のある行動するための要件を考える。
8月			
9月	「表とグラフ」(情)(地) ★社会	・数量の関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現することができる。 ・変化や対応の特徴を見だし、それらを日常生活に生かすことができる。	・自分の生活に関する事柄のグラフから読み取れることを発表する。
10月			
11月	「図形」(情)(地) 「数と計算」(自)(地)	・日常生活の中で見られる立体の特徴や便利さに着目し、生かすことができる。 ・基本的な体積の求め方を身に付ける。 ・確率の考え方を理解し、日常生活場面で役立てることができる。	・立体を構成する要件を確認する。 ・生活上のものについて、それぞれの形である意義を考える。 ・身近な事象を確率の形で書き表す。
12月			
1月			
2月 3月	「金銭」(情)(地) ★ライフキャリア 「1年間のまとめ」(自)	・これまでの学習について、実際の生活に即した活用方法を理解し、また活用し生きていく姿勢を身に付ける。	・生活に係る費用を表にまとめ、支出の見通しをもつ。 ・数学で学んだことを生かせる場面を考える。

評価の観点	① 知識及び技能 ② 思考力・判断力・表現力等 ③ 学びに向かう力、人間性等
①数量や計算、金銭管理などに関する知識技能を身に付ける。 ②目的に応じて、適切に計算、判断する力を養う。 ③数学を実際場面でも活用し、よりよい生活を送ろうとする。	